

西郷山 地域史研究会 研究会報

第 44 号

第四十四回総会 報告

令和七年六月二十二日に第四十四回総会並びに公開講演会を寒河江市文化センターにて開催。令和六年度事業報告・収支決算報告・令和七年度事業計画案・収支予算案を審議し、原案どおり承認された。総会終了後、「山形の大地の歴史」の演題で山形大学名誉教授大友幸子氏により講演が行われた。

本会の設立以来、十月から翌年九月までとしていた事業年度を四月から翌年三月に変更したことにより、令和六年度は半年間の期間となり、移行調整する形での年度となりました。承認内容の概要は次のとおりです。

◇令和六年度報告

1 第四十三回総会 十月五日 寒河江市ハートフルセンター
講演「山形学を語る」
とちぎ市民協働研究会代表理事 廣瀬隆人氏

2 第四十二回談話会 二月二十二日 寒河江市文化センター

「山形県指定有形文化財・西村山郡役所文書について」
山形大学研究院准教授 小幡圭祐氏

3 役員会 二回開催

4 収支決算

収入 四七一、八七〇円
支出 四五九、〇五〇円
繰越 一二、八二〇円

◇令和七年度計画

1 第四十四回総会の開催

2 第四十三回談話会の開催

3 講座「山形学の歴史を学ぶ」の開催

4 史跡巡りの開催

5 会報第四十四号の発行

6 機関誌第四十四号の発行

7 役員会の開催

8 西村山郡市町等主催の歴史文化事業への共催・後援

9 予算 四八〇、〇〇〇円

令和七年九月二十日実施

「史跡巡り」に参加して

柴橋 亘

本会恒例の今年の「史跡巡り」は、酒田市を中心に「飽海地域の歴史文化をめぐる」のテーマで行われた。現地では飽海地域史研究会会長の小野寺雅昭氏により各地を案内していただき、合流して否や、詳細且つ丁寧な手作り案内書「酒田湊への歴史文化の旅」を頂き大変感動したものであり、御礼と感謝を申し上げます。

城輪柵跡では、今こそ県庁所在地は山形市になっているもの、かつては出羽国の政庁が置かれて政治の中心だったことで、内陸の者として改めて歴史の古さを感じた所でした。

神社は、一条八幡神社と蔵岡大物忌神社（口之宮）を参拝したが、やはりかつての旧出羽国一之宮は、鳥海山の大物忌神社だったことを思えば、鳥海山の勢力の強さを感じる。

午後は酒田市に入り、日本海が一望できる日和山に赴き、普段はじっくりと見学や説明を受けたことのないなかで、常夜燈や河村瑞賢像、神戸六甲から運ばれた御影石などの名石、北前船の事柄、方角石などについて詳細な説明を頂いた。やはり酒田においては、本間家の存在を無く

しては歴史は語れないほどの地域とのつながりや、地域への貢献がいたるところに残されているので、盛んであった往時を偲ぶことができたものである。

最上義光が東禅寺城を攻め庄内を制した後に山形長谷堂城の志村伊豆守が入部したが、菩提寺である青原寺を訪れた。伊豆守は現世にも通ずる遠隔地への赴任となったが、酒田においても最上義光の下、城の名を東禅寺城から亀ヶ崎城と改め、多くの治世を施し、現在の酒田の基盤になったものと思われる。寺には伊豆守がかつて勇将盛んな時に着用したとされる鎧や墓碑が保存されており、めまぐるしく動いた時代を感じるのであった。

最後は旧青山邸を見学したが、漁業王と言われた青山留吉の雄大さ、偉大さを目の当たりに感じざるにはおれない歴史の場所であった。



令和八年二月一日 発行

西村山地域史研究会

寒河江市中央一丁目七一四

寒河江市立図書館内

寒河江市史編纂室